

キャラクター名
桜 梅子

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス キュマイラ		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	ぴちぴちの女子しぶちよ
	オプション		年齢	体11歳/頭??歳	性別	女の子
覚醒	素体	衝動	飢餓	初期侵食率	33%	
出自	名家の生まれ	経験	禁断の愛	邂逅	家族	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	46
肉体	4	1	0			5	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	0	1			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	3		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
剛剣武者-Kyokuzamurai		0				ヴィーグルモーフィング コンセントレイト 巨匠の記憶

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
日本刀(霊刀 笹華貴)	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
神城	P 有為	N 不安		
両親	P 誠意	N 嫌気		
桜一葉(さくら かずは)	P 尽力	N 悔悟		
シナリオロイス 景山一夜	P 好奇心	N 脅威		
ちひろ	P 有為	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
巨人の生命	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最大HP+Lv×5 初期侵蝕値+3								
ヴィーグルモーフィング	2	3	マイナ	至近	自身	自動	-	
効果: 専用アイテム一つ使用(EA P140)								
巨匠の記憶	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: 判定ダイス+Lv個								
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv								
イーゴスの盾	2	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード値+LvD								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ダメージロール前加ダメージ								
砂の祝福	1	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 砂の結界 Lv×10m 1シーン1回								
テクスチャーチェンジ	1							
効果: 「ふふっこの簪はな、とおーい昔にじいさんがくれた大切なものなのじゃ。ほれほれ、かわええじゃろかわええじゃろっ？」								
超人的代謝	1							
効果: 「ぶはあ〜たくさん食べた！む、饅頭じゃなくて本当に怖いもの？そうじゃのう…わっちはお茶が怖いわい」								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

さくら うめこ

古代種のレネゲイドウィルスを持っていてもう百年以上は生きている。でも見た目はいつまでもロリ。一人称「わっち」二人称「そち」「うぬ」語尾に「～じゃろ」「～のう」と話し方は普通にBBAのほほんとした雰囲気でのんびりしてる。お茶目さん。和菓子とお抹茶と日本酒が大好き。

戦うときは髪にさしてある簪を引き抜き同時に日本刀(「霊刀 笹華貴」れいと う ささかぬき)に変形!(イージーエフェクト、テクスチャーチェンジ)それを地面に突き立ててレネゲイドを地面に流し込みその土やコンクリートでできた巨人を作り出す! ゴレムクリエイターだ!(ヴィーグルカーと言い張る)それを操ったり乗っかったりしてその大きな体を使って戦うぞ! がんばれ! ロリ!!

なんとな〜く過去↓
無駄に長いよ!
※PLは日本史ファンブルしております。色々とおかしいところあると思いますがご了承下さい。

生まれたのは江戸初期くらい。武士のおうちに生まれたいわゆる上流階級のお嬢様だったが厳しい両親に自由を奪われ毎日退屈でつまらない日々を過ごしていた。大変べっぴんさんだったため、14ですぐに嫁先が決まる。親に決められた人と結婚なんてしたくなかったが一人のカジャどうにもならなかった。しかし結婚前夜、一月ほど前に町にふらりと現れたちょっと浮いてる変わり者、桜一葉(さくらかずは)に求婚される。熱烈にプロポーズされ梅子もそのまんま惚れてしまい、二人で夜中に町を飛び出す。しかし彼が腰にひっさげていた不思議な刀、霊刀